

1 小学校国語

- （1） 調査結果の成果と課題**
- （2） 課題となった問題の分析**
- （3） 質問紙調査分析**
- （4） 指導改善のポイント**

1 (1) 調査結果の成果と課題

成果

「～たり, …たり」や, 「～なるならば」などの形を用いて, 適切な表現にして書くことはよくできています。

○関連する問題(A 6一・二)

二つの詩を比べて読み, 内容や表現の工夫を捉えたり, 自分の考えを書いたりすることはよくできています。

○関連する問題(B3一(1)・三)

小学校国語

課題

「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」など, 故事成語の意味と使い方を理解することに課題があります。

●関連する問題(A2一・二)

説明的な文章を読み, 分かったことや疑問に思ったことを整理し, それらを関係付けながらまとめて書くことに課題があります。

●関連する問題(B2二)

物語文の情景描写の効果や, 新聞の投書における表現の仕方を捉えることに課題があります。

●関連する問題(A3・A4)

1 (2) ① 課題となった問題の分析

小学校国語①

課題となった問題

●正答率が低いA問題

- ・A2一 本県47.0%, 全国55.8%, (－8.8%)
- ・A2二 本県46.6%, 全国49.9%, (－3.3%)

二 「百聞は一見にしかず」

1 友達野村さんは、先生の説明のはじめの部分を知り、結論まで見通すことができるという。百聞は一見にしかずということが出来る人だ。

2 私は、夕日が美しいことで有名な海岸を訪れ、その美しさを自分の目で見て実感することができた。まさに百聞は一見にしかずだ。

3 私は、人からいろいろと細かく注意されることがいやだ。しかし、友達に百聞は一見にしかずだと助言されたので、そのことをよく考えてみようと思う。

一 「五十歩百歩」

1 姉と私は、残りのケーキをどちらが食べるのかでもめていた。すると、母が私たちを注意して、もめごとに関係のない弟に食べさせた。弟にとっては、五十歩百歩だ。

2 私たちの学級では、学年で行われる学級対抗ドッジボール大会での優勝をめざして、ほかの学級よりもずっと前から練習を始めた。だから、優勝できたのは、五十歩百歩だ。

3 山口さんと川島さんが、学校で出された宿題を五回忘れたのが、六回忘れたのかで言い争っていた。このようなことで言い争う二人は、五十歩百歩だ。

2 次の一と二の故事成語の使い方として最もふさわしいものを、1から3までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

課題

「五十歩百歩」「百聞は一見にしかず」など、故事成語の意味と使い方を理解することに課題があります。

【A2二解答類型】

1(26.7%), **2(46.6%)**, 3(26.4%)
無解答(0.3%)

指導のポイント

先人の知恵や教訓、機知に触れることができるように、実生活の中で意図的に活用する機会を設けるなど、計画的に指導することが大切です。

例えば、三領域の言語活動と関連させて、出来事の説明や調査の報告などを行う際に、故事成語やことわざ、慣用句を使うという条件のもとに話す指導が考えられます。

また、朝の会や帰りの会など日常的な活動で、慣用句を使った1分間スピーチやクイズに取り組むなど、継続した指導が必要です。

1 (2) ② 課題となった問題の分析

小学校国語②

課題となった問題

● 正答率が最も低いB問題

・ B 2二

・ 本県24.4% 全国26.9%, (-2.5%)

課題

説明的な文章を読み、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題があります。

【解答類型】

3つの条件をすべて満たしているもの(24.4%)

2つの条件を満たしているもの(1.7%)

1つの条件を満たしているもの(25.0%)

上記以外の解答(43.5%), 無解答(5.4%)

指導のポイント

「二文を一文にして書くこと」の具体的な指導として、接続語「また」や「しかし」などを、どのような言葉に置き換えることができるか挙げさせ、文を書かせる指導が考えられます。

「『例えば』という言葉を使って書くこと」の具体的な指導として、参考となる文章から具体例が示されている箇所を確認させ、「例えば」を使って書くことに慣れさせる指導が大切です。

【参考】

平成22年度調査問題【小学校】国語B4

平成25年度調査問題【小学校】国語B2三

二 原田さんと野口さんは、書いたふせんを整理しながら「疑問」に対するまとめを書いていきます。
 【野口さんのまとめ】の B の中には、どのような内容が入ると考えられますか。ふさわしい内容を、「原田さんのまとめ」の書き方を参考にし、次の条件に合わせて書きましょう。
 (条件)
 ○ 「野口さんのふせん」②と③の両方の内容を使って書くこと。
 ○ 「野口さんのふせん」④の内容については、「科学読み物」の 部の二文を一文にして書くこと。また、⑤の内容については、「例えば」という言葉を使って書くこと。
 ○ 書き出しの言葉に続けて、百字以上、百二十字以内にもまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

【原田さんの疑問】

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻とよくちがうが、いっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

④鼻の短い動物の鼻の役目は？

・カバやフダは、鼻を使って何ができるのか。

【新たな疑問】

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻とよくちがうが、いっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

④鼻の短い動物の鼻の役目は何かと？

・カバやフダは、鼻を使って何ができるのか。

【野口さんの疑問】

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻とよくちがうが、いっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

④鼻の短い動物の鼻の役目は何かと？

・カバやフダは、鼻を使って何ができるのか。

【新たな疑問】

「分かったこと」

①鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

②鼻とよくちがうが、いっしょに長くのびていったことで、頭を下げなくても草や水を口に運ぶことができるようになったようだ。

③鼻は、今よりも短かったが、体がだんだん大きく大型化し、口が地面からはなれていったようだ。

④鼻の短い動物の鼻の役目は何かと？

・カバやフダは、鼻を使って何ができるのか。

1 (2) ③ 課題となった問題の分析

小学校国語③

課題となった問題

- A・B問題を通して全国平均と比べて差が大きい問題
 - ・A3
 - ・本県53.2%，全国58.7%，(−5.5%)

1	良太の顔の表情
2	良太の心の中の声
3	良太の周りの風景
4	良太の行動

南田 ―― 部では、良太の気持ちを「さびしい」と表現したが、「さびしい」という言葉を使わずに、うまく表現できないかな。

橋本 それならば、その気持ちを [] で表したらどうだろう。

南田 それはいいね。(しばらく考える)

では、「いつの間にか灰色の雲が広がり、公園はだんだんと暗くなってきました。」としたらどうか。

橋本 そうだね。そのように書きかえると、「さびしい」という言葉を使わなくても、読み手に良太の気持ちや様子を想像させることができると思うよ。

〜(会話が続く)〜

③ 二人の会話の様子

【物語の一部】

良太は、小学三年生の男の子。春休みに、大きな町から引っ越してきました。四月、引っ越した先の学校に通い始めましたが、はずかしがり屋の良太は同じ学級の人に声をかけることができませんでした。

おだやかな風がふく、ある日のことです。学校から家に帰った良太は、近くの公園に出かけました。その公園は、学級のみんながよく遊んでいる場所です。学級の誰かと会って話をして、そこでじっと待つことにしました。しかし、公園にはだれも来ません。

良太は、さびしい気持ちでいっぱいになりました。

「こんなところなんてきらいだ。友達なんていらぬや。」

と、小さな声でつぶやきました。

〜(物語が続く)〜

③

次は、南田さんが想像したことをもとにして書いている「物語の一部」です。南田さんは、橋本さんから助言をもらっています。あとの「二人の会話の様子」の [] の中に入る内容として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

課題

物語文の情景描写を捉えることに課題があります。

【解答類型】

- 1 (19.7%)， 2 (15.3%)， **3 (53.2%)**， 4 (11.7%)
 無解答 (0.1%)

指導のポイント

物語などの文学的な文章を読む授業において、描写の工夫(行動や表情、会話(内言)、風景など)の効果を理解できるように指導することが大切です。

その際、登場人物の心情などについて、直接的に描写されているものだけでなく、暗示的に表現されているものも捉えることができるように指導しましょう。

【参考】
 平成24年度調査問題【小学校】国語A6

1 (3) 小学校国語に関する質問紙調査分析

質問紙（小学校国語に関する内容）から見えてきたこと

児童質問紙から

多くの児童が、記述式問題の解答を最後まで書こうと努力しています。一方、話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりすることは、全国平均と比べて低い傾向にあります。

- 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか
「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」
 - 本県76.9%，全国76.1%，（+0.8）
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか
「当てはまる」
 - 本県17.3%，全国19.0%，（-1.7）
- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
「当てはまる」
 - 本県26.9%，全国29.0%，（-2.1）

学校質問紙から

補充的な学習の実施状況は、高い傾向にあります。一方、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業や、基礎的・基本的な事項を定着させる授業の実施状況は、全国平均と比べて低い傾向にあります。

- 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか
「よく行った」
 - 本県16.5%，全国14.1%，（+2.4）
- 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか
「よく行った」
 - 本県19.5%，全国20.7%，（-1.2）
- 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか
「よく行った」
 - 本県46.4%，全国51.0%，（-4.6）

1 (4) ① 授業づくりに当たって (小学校国語)

1 指導事項等を確実に身に付けるための単元を貫く言語活動を充実させましょう。

- ・「身に付けたい力」「言語活動」「教材文」の有機的な関連付けを図ること。
- ・児童の主体的な思考・判断が生かされる言語活動を設定すること。
- ・思考力，判断力，表現力等を高めるための発問を工夫すること。

2 漢字，語句，故事成語の意味や使い方の定義を確実に習得させましょう。

1 (4) ② 授業内容における改善のポイント (小学校国語)

学力調査結果分析から見える課題の解決に向けた研究を
充実させましょう。

- 各教科等との関連を図りながら、話し合い活動で、一人一人が司会の役割を経験する機会を設けること。
- 書くことの授業において、直接的に描写されているものだけでなく暗示的に表現されているものも捉えることができるように指導すること。
- 文学的文章では、登場人物の人物像を捉え、相互関係を明確にしながらかくように指導すること。
- 先人の知恵や教訓、機知に触れることができるように指導し、実生活の中で意図的に活用する機会を設けること。